

進路通信 ステップ

琴海中学校進路指導部 NO4
令和 4年 9月26日(月)発行

今回の内容 ○ 進路選択にあたって

12日(月)の進路集会では、今後の進路関係予定、推薦制度について、公立・私立高校の入試制度等について話をしました。

16日(金)の進路学習では、“適性”について考えるため、セルフチェックをして、自分に合う職業について知ることができました。“適性”を知ることは難しいかもしれませんが、しかし、将来の生き方を決める上では、ぜひ考えてほしいと思います。

10月は、実力テスト(17日18日)、第2回進路説明会(20日)。併せて第2回進路希望調査を行います。第1回の調査は、おおよその状況をつかむためのものでした。しかし、これからは、すすむ道をはっきりさせていくことが大切になります。

10月にかけ、教師対象の高校入試説明会が開催されています。令和5年度募集要項や入学案内が次々と送られてきています。受験(受検)はいよいよ目前です。

第2回進路希望調査は

○1学期の通知表の評価・評定、8月実力テストの結果を参考に検討ください。

10月実力テストは、業者テストのため、結果がわかるのは10月末になります。進路希望調査の記入が先になります。

○進路学習でも考えたように、将来はどんなコースにすすみたい、どんな職業につきたい、という興味や適性を考慮してください。

○親子でよく話し合い、お子さんの希望や願いを大切にしてください。

○10月の進路希望調査では、公立高校志願は、1校のみお書きください。第2志望校・第3志望も話し合ってください。

高校選びのポイントとして次のことも考えてください。

1. 距離(3年間通いきれるのか)

1日や2日通うのではありません。雨の日も風の日も、体調が悪い日も、暑い日もとても寒い日も、いろんな条件をかかえながら3年間通います。学校までの距離は重要です。単なる距離や時間だけでなく、体験する必要があります。卒業生の中には、往復4時間かけて通学している生徒がいます。その学校への強い意志が大切になります。

2. 成績(鶏口牛後)

「鶏口となるとも牛後となるなかれ」という言葉があります。

鶏と牛。牛の方がずっと大きく力も強い。一羽と一頭と比べれば値段も格段の違いです。

ところで、その鶏の口になるか、牛の後ろについて「俺は牛に属しているんだぞ」と考えていきていくか、あなたはどちらの生き方がいいと思いますか。

牛のしっぽについて汲汲(きゅうきゅう)としてついていくよりは、にわたりの口になって生きていく方が自分の能力も発揮でき、さらに思わぬ力も生まれてくるケースが多いようです。もちろん本人の努力次第で牛の頭になる可能性もあります。まずは自分の今の力を冷静に判断・分析する必要があります。評判ばかりにとらわれず、自分のもてる力を多少のゆとりをもちながら、どこまで伸ばすかということを考え、進む先を考えてほしいと思います。

実際に卒業生で、念願の高校に合格したものの、勉強についていけないため、部活動をやめなければならぬということがあっているようです。

「大きな石から先に入れろ」

校長 小野良介

ある大学でこんな授業があったという。

「クイズの時間だ」教授はそう言って、大きな壺を取り出し教壇においた。その壺に、彼は一つ一つ大きな石を詰め込めた。壺が一杯になるまで石を詰めて、彼は学生に聞いた。「この壺は満杯か？」教室中の学生は「はい」と答えた。

「本当に？」と尋ねながら教授は、教壇の下からバケツいっぱい砂利を取り出した。そして砂利を壺の中に流し込み、壺を振りながら、石と石の間を砂利で埋めていく。そしてもう一度聞いた。「この壺は満杯か？」学生は答えられない。一人の生徒が「たぶん違つたろう」と答えた。

教授は「そうだ」と笑い、今度は教壇の影から砂の入ったバケツを取り出した。それを石と砂利の隙間に流し込んだ後、三度目の質問を投げかけた。「この壺はこれでいっぱいになったか？」学生は声をそろえて、「いや」と答えた。

教授は水差しを取り出し、壺の縁までなみなみと注いだ。彼は学生に最後の質問を投げかける。「僕が何を言いたいのかわかるだろうか」

一人の学生が手を挙げた。「どんなにスケジュールが厳しいときでも、最大限の努力をすれば、いつでも予定を詰め込む事は可能だということです」

「それは違つ」と教授は言った。

「重要なポイントはそこにはないんだよ。この例が私達に示してくれる真実は、大きな石を先に入れない限り、それが入る余地は、その後二度とないということなんだ」

君たちの人生にとって、大きな石とはなんだろう、と教授は話し始める。それは、仕事であったり、志であったり、愛する人であったり、家庭であったり、自分の夢であったり……ここで言う「大きな石」とは、君たちにとって一番大事なものだ。それを最初に壺の中に入れなさい。さもないと、君たちはそれを永遠に失うことになる。もし、君たちが小さな砂利や砂や、つまり自分にとって重要性の低いものから自分の壺を満たしていけば、君たちの人生は重要でない「何か」に満たされたものになるだろう。そして大きな石、つまり自分にとって一番大事なものに割く時間を失い、その結果それ自体失つただろう。

さて、皆さんいかがですか？今の皆さんにとって大きな石は何ですか？今の自分に大事なものは？それを自分の壺に詰めていますか？